

クローズアップ研究室

ダイバーシティ情報社会研究室

三橋 勇太 助教[修士(情報科学)]



地域調査から人情を知り、マーケティングへ

観光をテーマに心理学、情報科学、社会学などの多角的な視点から研究に取り組んでいます。研究結果をもとに情報を可視化することで、より具体的な観光地の景観や街づくりのサポートをめざし、観光者のニーズとメディア情報を組み合わせた新しい観光政策や、運営の在り方を模索しています。フィールドワーク調査から地域情勢を学び、人情を知ることが、マーケティングにつながっています。

教育研究活動

1
年次

この学科で何を学ぶかを理解します。レポートの作成やグループワークの方法などのスタディスキルを学びます。数学、統計学関連の授業を必修とし、初学者に対しては徹底したサポートを行います。

3
年次

個々がめざすキャリアパスに応じて、さらに専門性を高めるための科目を選択します。3年次の総括として一人ひとりがビジネスモデルを提案する「学科内コンテスト」を開催し、ビジネススキルの向上とビジネスに関する興味関心をさらに高めます。

2
年次

自らのキャリア設計を進めると同時に、専門性を高めます。ロジカルシンキングなどビジネスに必要な思考法を身につける演習を取り入れ、ビジネス関連科目、情報通信技術・データ分析の基礎となる科目を選択します。

4
年次

情報通信技術やデータを利活用して、社会や経営の課題を解決するためのPBL型教育(問題解決学習)を展開します。4年間の成長を主観的・客観的に表すものとして卒業論文(卒業制作)を課し、学びを深化させます。